



旧正月のお祝いのタブー

日本でも年始のご挨拶の習慣がありますが、中国でもおめでたい旧正月には慶びを分かち合おうと、親戚同士や友人同士が互いの家へ遊びに行きます。

その際、手土産などを持参したり、あるいは一年間お世話になった方々には感謝の気持ちを込めてお正月を祝う品物を贈ったりします。

そこで今回は、現在の中国の習慣では贈るのがタブーとされる正月の品物をいくつか紹介いたしましょう。

1. 靴（革靴、運動靴を問わず）



靴は、中国語で「鞋」と書き、シェ(XIE)と読みます。

「邪」の読みも、シェ(XIE)です。

「邪」と同音語のため、他人に靴をプレゼントするのはその人に邪気を送る意味にとられてしまいます。

ただし、当然ながら家族や親戚間は例外です。

2. 枕

快適な睡眠に不可欠な枕。大切な友人に気持ちの良い眠りをプレゼント、と思いたいところですね。



でも、気をつけてください。

もし気まぐれに他人に枕をプレゼントしてしまうと、“高枕無憂”（枕を高くして寝ること、何も心配することがないこと）の日々が少しずつ損なわれるとされています。

また、揉め事が増えてしまう恐れもあるため、枕をプレゼントするのは控えるのがいいでしょう。ただし、家族や恋人同士の場合は差支えありません。

3. ぬいぐるみ



日本では、小さな女の子がいるご家庭にお土産で持っていく機会も多い、ぬいぐるみやお人形。

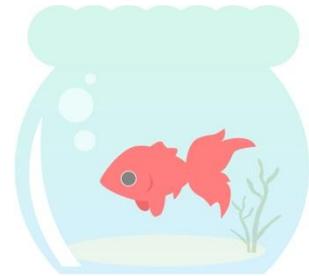
でも、中国においてはご注意ください。ぬいぐるみや人形、お面などは小人（徳・器量のない人を指す）を表します。それらを長期間家中に置いておくと邪気を呼びやすく、家中の平穏が壊される恐れがあるとされています。

4. 金魚鉢

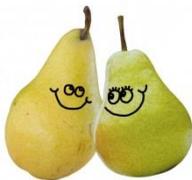
風水の観点から金魚鉢は金運を象徴します。

しかし、気楽に贈呈したり、受け取ったりするのは好ましくありません。人にはそれぞれの運勢があり、金魚を飼っていけない運勢を持つ人もいますので、みだりにプレゼントしてはいけなるとされています。

金魚鉢をもらってから金運が下がりっぱなしで、原因を探求するために占い師を呼んだ人もいますほどです。



5. 梨と李



梨も李も、中国語でリ（LI）と読みます。

別離や分離の「離」も同様に、リ（LI）と発音します。

その連想から、上記2種類の果物のプレゼントは、もらう方の家庭に将来、離別の恐れが生じるとされています。

6. 財布

財布は通常、自分自身の「金庫」を象徴します。

自分の金庫を他人にプレゼントしてしまったら、その後の財運がよくないのはいか、あるいは資産が減る一方なのではないか、あるいは回収できる資金が予定通りに回収できないのではないか、などの危惧が生じるとされています

ただし、夫婦同士、恋人同士の場合は、逆に、相思相愛、意気投合の意味になります。



7. 傘



傘は中国語で、サン (SAN) と読みます。

「散」の読みも、同じく、サン (SAN) です。

そのような連想が働くので、傘を人に贈るのは良くないとされています。

特に、親友同士が互いに傘をプレゼントすると、今後、袂を分かつか離散する恐れがあるとされています。

ただし、雨振りに傘をお貸しするのは別のことです。

8. 掛け時計、置き時計 (腕時計を含む)

時計は中国語で「鐘」と書き、ジュン (ZHONG) と読みます。

「終」もジュン (ZHONG) と発音します。

同音語の連想から、人に時計を贈るのは、死に水を取りたい、言わばその人に死んでほしいという意味に繋がります。

そうは言っても、高級な腕時計は誰でも欲しいものですよね。

官僚などが賄賂で高級腕時計をもらい、その後、そのことが発覚し収賄の罪に問われ失脚する例が少なくありません。

偶然もあるかもしれませんが怖いですね。



9. 蠟燭



日本でも蠟燭を贈り物にすることは滅多にないでしょうが、法事
のときには持つて行くこともありますね。

中国では、蠟燭は亡くなった人を祭祀するために使用される意味
合いから、プレゼントとして人に贈るのは好ましくありません。
いかがでしたか。驚かれる部分もあったのではないのでしょうか。

「ところ変われば品変わる」ではありませんが、贈り物に寄せる
意味合いや慣習が、日本とは大いに違いますね。

日本でも、忌み言葉との同音同韻を敬遠する傾向はありますが、中国ではその傾向
がさらに強く深刻な影響をもたらす場合があります。

日本人が中国人に贈った場合、大抵は文化の違いだからと笑って済ませてくれるは
ずです。どうせならせっかくの善意や心遣いが、かえって仇にならないほうがいい
ですね。

中国で、あるいは中国人に何かしら品物を贈るときの参考にしていいただければ幸い
です。